

2026年3月期 第3四半期決算短信 [日本基準] (連結)



2026年2月6日

上場取引所 非上場

会社名 株式会社 但馬銀行
 コード番号 — URL <http://www.tajimabank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 坪田 奈津樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 森脇 正司 TEL 0796-24-2111
 特定取引勘定設置の有無 : 無
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	17,326	25.8	2,888	59.1	1,928	53.1
2025年3月期第3四半期	13,768	6.6	1,815	△5.3	1,258	2.7

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,530百万円 (— %) 2025年3月期第3四半期 116百万円 (△94.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	24.14	—
2025年3月期第3四半期	15.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,313,559	50,293	3.7
2025年3月期	1,311,047	47,163	3.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 49,844百万円 2025年3月期 46,727百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2026年3月期	—	2.50	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,520	18.5	1,630	6.7	20.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	79,875,000 株	2025年3月期	79,875,000 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年3月期3Q	——— 株	2025年3月期	——— 株
------------	-------	----------	-------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	79,874,658 株	2025年3月期3Q	79,874,975 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
3. 四半期決算補足説明資料	8

※ 自己資本の構成に関する開示事項

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復しました。輸出や生産は、米国の関税政策の影響を受けつつも、概ね横ばいで推移しました。設備投資は、デジタル投資や省力化投資を中心に、増加基調を維持しました。公共投資は、各種政策効果もあり、底堅く推移しました。また、個人消費は、物価上昇による節約志向から弱さがみられるものの、雇用・所得改善の動きが続くなかで、緩やかな増加基調となりました。

金融面をみますと、日本銀行は、12月の金融政策決定会合において、「物価安定の目標」の実現確度が高まっているとし、無担保コールレートの誘導目標を0.75%程度まで引き上げ、短期金利は0.7%近傍、長期金利は2.0%近傍まで上昇しました。日経平均株価は、米国の金融政策の行方や地政学的リスクの高まりから、上値の重い展開もありましたが、企業業績の拡大期待から上昇し、最高値を更新する局面もみられ、期末は5万円台で越期しました。

以上のような金融経済環境のなか、当行グループは役職員一致協力して地域に密着した営業活動と経営の効率化に努めました結果、当第3四半期連結累計期間の損益は、経常費用が前年同期比24億84百万円増加して144億38百万円となったものの、経常収益が前年同期比35億57百万円増加して173億26百万円となったことから、経常利益は前年同期比10億73百万円増加して28億88百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比6億69百万円増加して19億28百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

預金残高は、個人・法人を中心に取引の拡大に取り組みました結果、前連結会計年度末比317億82百万円増加して1兆1,833億88百万円となりました。

貸出金残高は、地域の事業者向け貸出や住宅ローンの増強などに積極的に取り組みました結果、前連結会計年度末比133億4百万円増加して9,886億11百万円となりました。

有価証券残高は、資産の流動性の確保と資金の安全性を重視し、国債・地方債を中心に将来の市場変動に配慮した運用に努めました結果、前連結会計年度末比45億59百万円増加して1,805億4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月23日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
現金預け金	126,654	110,300
コールローン及び買入手形	505	534
買入金銭債権	1,010	1,084
有価証券	175,944	180,504
貸出金	975,306	988,611
外国為替	917	990
リース債権及びリース投資資産	8,156	8,857
その他資産	9,769	10,752
有形固定資産	15,048	14,805
無形固定資産	450	433
繰延税金資産	300	12
支払承諾見返	458	226
貸倒引当金	△3,477	△3,554
資産の部合計	1,311,047	1,313,559
負債の部		
預金	1,151,605	1,183,388
借入金	102,190	72,145
外国為替	49	58
その他負債	6,754	4,145
役員賞与引当金	5	—
退職給付に係る負債	1,603	1,626
役員退職慰労引当金	387	393
偶発損失引当金	99	86
繰延税金負債	7	479
再評価に係る繰延税金負債	721	715
支払承諾	458	226
負債の部合計	1,263,883	1,263,265
純資産の部		
資本金	5,481	5,481
資本剰余金	1,487	1,487
利益剰余金	35,339	36,874
株主資本合計	42,308	43,843
その他有価証券評価差額金	3,276	4,879
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,060	1,054
退職給付に係る調整累計額	82	67
その他の包括利益累計額合計	4,418	6,000
非支配株主持分	435	448
純資産の部合計	47,163	50,293
負債及び純資産の部合計	1,311,047	1,313,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
経常収益	13,768	17,326
資金運用収益	8,521	11,294
(うち貸出金利息)	7,343	9,576
(うち有価証券利息配当金)	803	1,227
役務取引等収益	2,516	2,434
その他業務収益	2,291	2,604
その他経常収益	439	993
経常費用	11,953	14,438
資金調達費用	483	1,706
(うち預金利息)	466	1,698
役務取引等費用	1,601	1,677
その他業務費用	2,379	3,419
営業経費	7,097	7,226
その他経常費用	392	407
経常利益	1,815	2,888
特別損失	4	92
固定資産処分損	4	33
減損損失	—	46
その他の特別損失	—	12
税金等調整前四半期純利益	1,810	2,795
法人税、住民税及び事業税	506	822
法人税等調整額	30	30
法人税等合計	537	853
四半期純利益	1,273	1,942
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,258	1,928

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,273	1,942
その他の包括利益	△1,156	1,588
その他有価証券評価差額金	△1,148	1,603
繰延ヘッジ損益	△0	0
退職給付に係る調整額	△8	△15
四半期包括利益	116	3,530
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101	3,516
非支配株主に係る四半期包括利益	14	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
顧客との契約から生じる収益	2,516	—	2,516	—	2,516	—	2,516
その他の収益	8,991	2,235	11,226	25	11,251	—	11,251
外部顧客に対する経常収益	11,508	2,235	13,743	25	13,768	—	13,768
セグメント間の内部経常収益	135	203	338	26	365	△365	—
計	11,643	2,438	14,082	51	14,134	△365	13,768
セグメント利益	1,770	43	1,813	1	1,815	△0	1,815

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、事務代行業、不動産賃貸業等であります。

3. 「顧客との契約から生じる収益」には、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」の対象外の収益も含まれております。

4. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
顧客との契約から生じる収益	2,434	—	2,434	—	2,434	—	2,434
その他の収益	12,337	2,529	14,867	24	14,892	—	14,892
外部顧客に対する経常収益	14,771	2,529	17,301	24	17,326	—	17,326
セグメント間の内部経常収益	153	215	369	29	398	△398	—
計	14,925	2,745	17,670	54	17,724	△398	17,326
セグメント利益	2,841	42	2,884	2	2,886	1	2,888

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、事務代行業、不動産賃貸業等であります。

3. 「顧客との契約から生じる収益」には、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」の対象外の収益も含まれております。

4. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

銀行業において、移転等の決定に伴い除却を予定している資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、46百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	580百万円	540百万円

3. 四半期決算補足説明資料

(1) 損益の概況【単体】

	(単位：百万円)		2025年3月期 第3四半期	(参考)(単位：百万円) 2026年3月期 通期業績予想値 [2025.5.23公表]
	2026年3月期 第3四半期	前年同期比		
業務粗利益	9,320	639	8,681	
(除く国債等債券損益(5勘定尻))	(10,503)	(1,433)	(9,070)	
資金利益	9,654	1,571	8,083	
役務取引等利益	798	△156	955	
その他業務利益	△1,132	△774	△357	
(うち国債等債券損益)	(△1,182)	(△793)	(△388)	
経費	7,128	139	6,988	
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	2,192	499	1,692	
コア業務純益	3,375	1,293	2,081	
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	3,375	1,293	2,081	
一般貸倒引当金繰入額①	38	26	11	
業務純益	2,153	473	1,680	
臨時損益	687	597	90	
不良債権処理額②	195	△98	294	
貸倒引当金戻入益③	—	—	—	
償却債権取立益④	9	△1	10	
株式等関係損益	576	576	—	
その他臨時損益	297	△76	373	
経常利益	2,841	1,070	1,770	2,440
特別損益	△93	△89	△4	
税引前四半期純利益	2,747	981	1,766	
法人税、住民税及び事業税	802	308	493	
法人税等調整額	35	6	29	
法人税等合計	837	315	522	
四半期純利益	1,910	666	1,243	1,600
(与信関連費用 ①+②-③-④)	225	△70	295	

(注) コア業務純益=実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)-国債等債券損益(5勘定尻)

(2) 自己資本比率（国内基準）

【単体】

(単位：百万円) (参考)(単位：百万円)

	2025年12月末		2024年12月末	2025年3月末
		2024年12月末比		
(1) 自己資本比率 (2)/(3)	8.61 %	0.80 %	7.81 %	8.53 %
(2) 単体における自己資本の額	43,346	1,869	41,476	41,578
(3) リスク・アセットの額	503,227	△27,233	530,460	487,053
(4) 単体総所要自己資本額(3)×4%	20,129	△1,089	21,218	19,482

【連結】

(単位：百万円) (参考)(単位：百万円)

	2025年12月末		2024年12月末	2025年3月末
		2024年12月末比		
(1) 連結自己資本比率 (2)/(3)	8.73 %	0.79 %	7.94 %	8.66 %
(2) 連結における自己資本の額	44,146	1,926	42,220	42,381
(3) リスク・アセットの額	505,462	△25,954	531,417	489,287
(4) 連結総所要自己資本額(3)×4%	20,218	△1,038	21,256	19,571

(3) 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」 【単体】

(単位：百万円) (参考) (単位：百万円)

	2025年12月末	2024年12月末	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,814	4,412	4,435
危険債権	8,280	7,580	8,445
要管理債権	59	62	61
小計 (A)	13,153	12,055	12,943
正常債権	989,045	988,979	974,886
合計 (B)	1,002,198	1,001,034	987,829
総与信に占める比率 (A) ÷ (B)	1.31 %	1.20 %	1.31 %

(4) 時価のある有価証券の評価差額【単体】

	2025年12月末				2024年12月末				2025年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	176,887	7,080	13,740	6,659	157,761	7,255	10,846	3,591	171,655	4,746	10,294	5,548
株式	18,157	13,667	13,667	—	15,379	10,795	10,799	4	14,831	10,247	10,250	3
債券	158,307	△6,659	0	6,659	141,984	△3,586	1	3,587	156,440	△5,534	10	5,544
その他	422	72	72	—	396	46	46	—	383	32	32	—

(注) 満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る評価差額は以下のとおりであります。

	2025年12月末				2024年12月末				2025年3月末			
	帳簿価額	評価差額			帳簿価額	評価差額			帳簿価額	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の債券	2,529	△35	0	36	3,527	△16	7	23	3,210	△30	2	32
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(5) 預金・貸出金残高【単体】

	2025年12月末		2024年12月末		2025年3月末	
預金	1,184,357		1,173,723		1,152,170	
うち個人預金	857,338		845,644		837,520	
貸出金	998,788		997,357		984,381	
うち住宅ローン	484,789		473,414		475,813	

(6) 投資信託・公共債の預かり資産残高、生命保険の販売累計額【単体】

	2025年12月末		2024年12月末		2025年3月末	
公共債	3,364		2,004		2,312	
投資信託	62,804		52,322		51,103	
生命保険	251,012		239,603		242,686	